

こども・若者へのアンケート集計結果概要

1. 調査概要

結果の解釈にあたっての留意点

- 本アンケート調査は、回答者の属性の偏りをなくして実施したものではなく、全国の母集団より回答者を無作為抽出したものでもないため、本調査の結果が、子ども・若者の居場所の傾向を代表するものではないことに、ご留意いただきたい。

(1)目的

- 居場所の利用有無によらず、子ども・若者が必要とする居場所や、子ども・若者の視点に立った居場所がどのような居場所かを把握するとともに、子ども・若者から、居場所のニーズを把握することを目的として実施した。

(2)調査対象

- おおむね30歳までの子ども・若者を対象とした。
- 有識者や関係団体ヒアリングの協力先、検討会委員など、つながりのある学校や居場所の運営団体等の紹介や協力を通じて依頼した。
- 内閣官房公式Twitterなど政府広報での周知も実施した。

(3)調査方法

- 内閣府が保有するウェブアンケートフォームを活用し、12月から1月上旬にかけて、ウェブ調査として実施した。
- 原則、ウェブでの回答としたが、協力を依頼した居場所におけるこどもの状況等により、紙媒体での回答も可能とした。
- 回答者の年齢等への配慮から、回答者として中高生を想定したフォーム（通常版）と、低年齢の子どもを想定したフォーム（やさしい日本語版）の2種類を作成し、ウェブ上で回答者に選択してもらった。
- 回答者の負担軽減と、回収率の向上の観点から、子どもや若者が5分程度で回答できる分量に設定した。

(4)調査内容

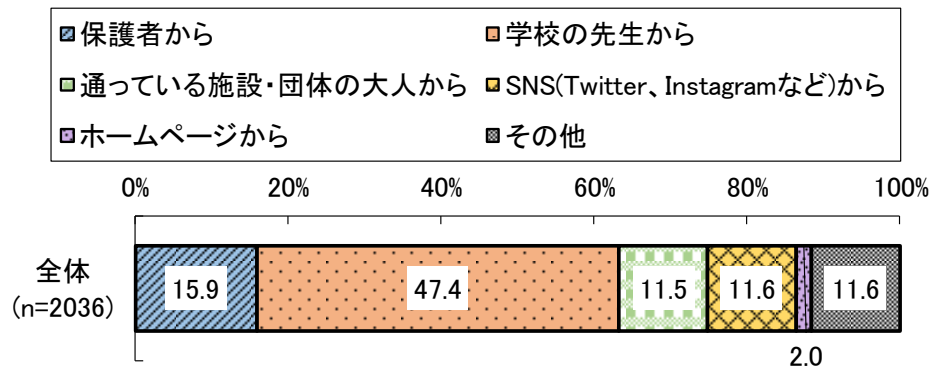
- 回答者属性（調査をどこから知ったか、年齢、性別、住んでいる地域）、居場所の必要性、居場所の有無
- 利用している居場所について、どのような居場所か、居場所の利用前後での変化、居場所への要望等
- どのような居場所であれば、利用したいか

2. 調査結果 – 回答者の属性 –

- 計2,036名からの回答を得た。※全て匿名、氏名やメールアドレスといった個人情報には取得していない。
- 回答者の属性は、以下に示したとおりである。

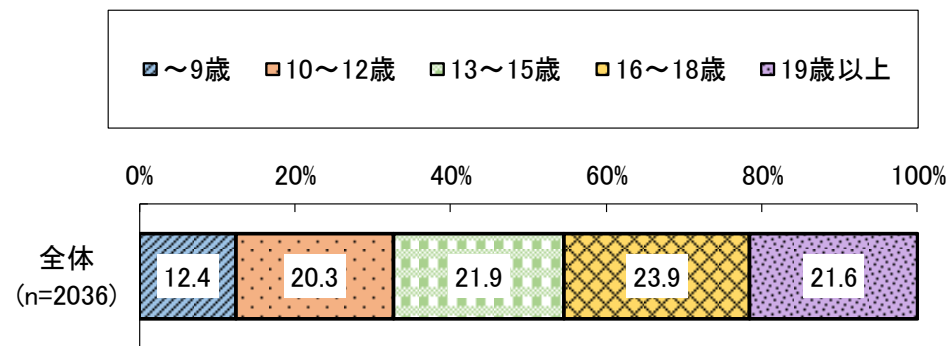
アンケートの入手元

(1) このアンケートを、どこから知りましたか(当てはまるものを1つ)《単一回答》



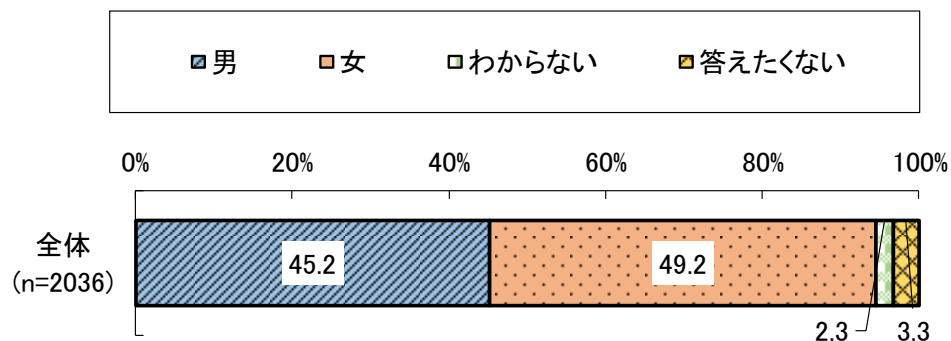
回答者の年齢

(2) あなたの年齢を教えてください。(当てはまるものを1つ)《単一回答》



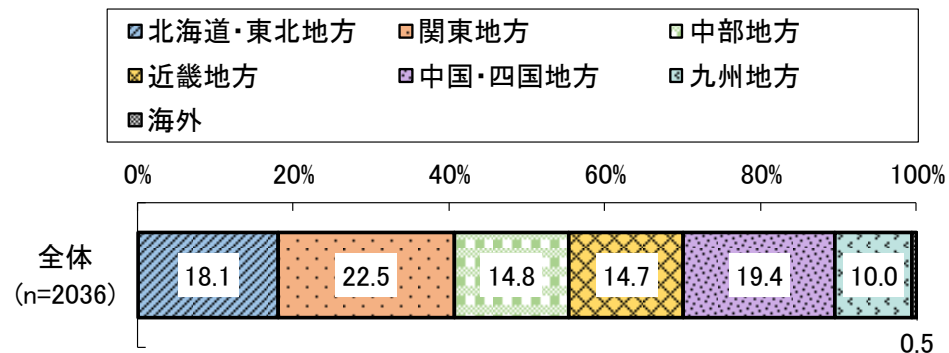
回答者の性別

(3) あなたの性別を教えてください。(当てはまるものを1つ)《単一回答》



回答者の居住地域

(4) あなたが住んでいる地域を教えてください。(当てはまるものを1つ)《単一回答》

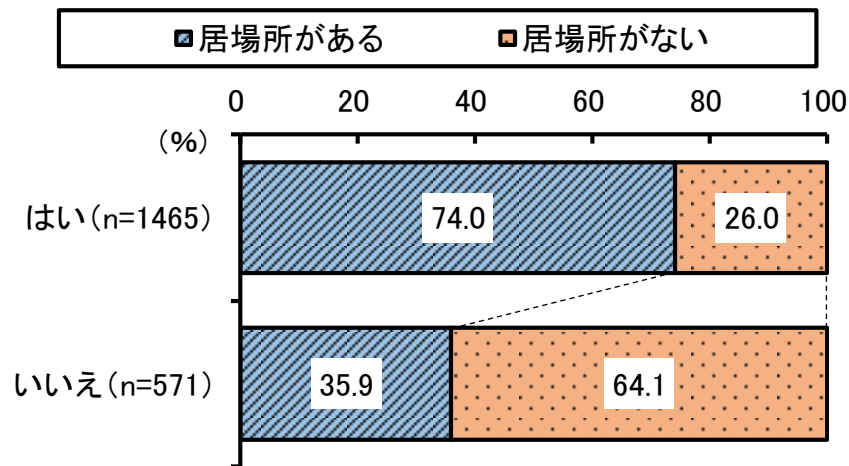


2. 調査結果 – 居場所のニーズ・居場所の有無 –

- 居場所のニーズ（居場所がほしいかどうか）により、居場所の有無を比較した結果、「居場所がほしい（はい）」と回答したこどものうち、「居場所がない」と回答することもが一定数存在した。
- また、「居場所がほしい（はい）」と回答したこどもに限定して、居場所の有無別に、回答したこどもの年齢の分布を確認した結果、居場所があると回答したこどもと比較して、居場所がないと回答したこどもにおいて、「19歳以上」の割合が若干高い傾向にあった。

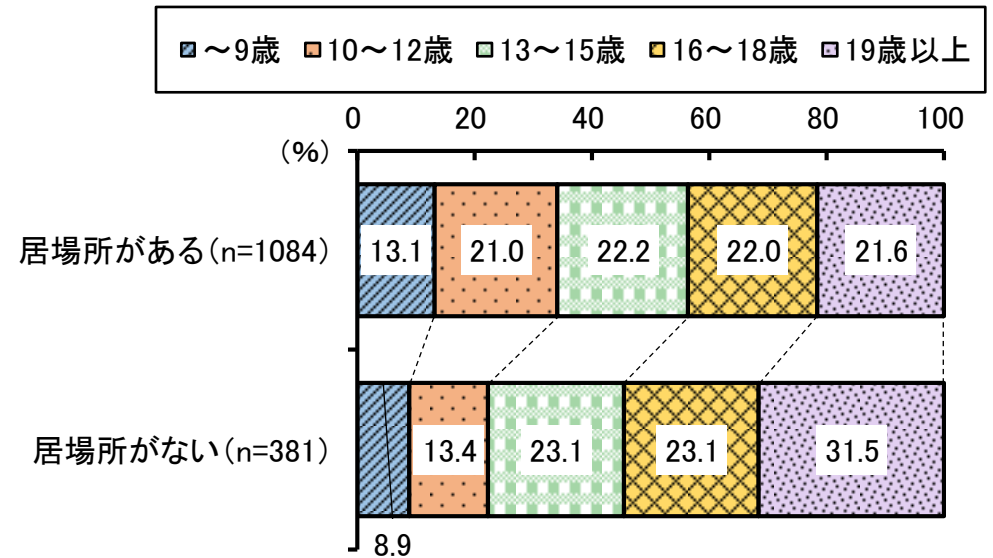
居場所のニーズ別、居場所の有無

(5) あなたは、家（普段寝起きをしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がほしいですか。



居場所のニーズがある層における、居場所の有無別、年齢の分布

(6) あなたは、家（普段寝起きをしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。

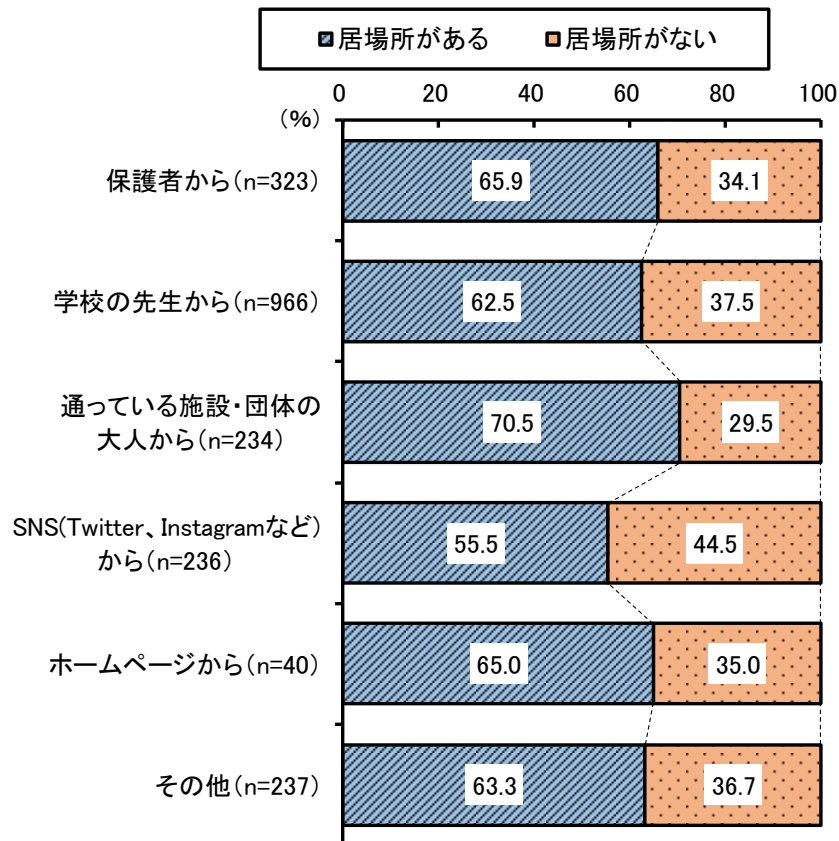


2. 調査結果 – アンケートの入手元別、居場所の有無 –

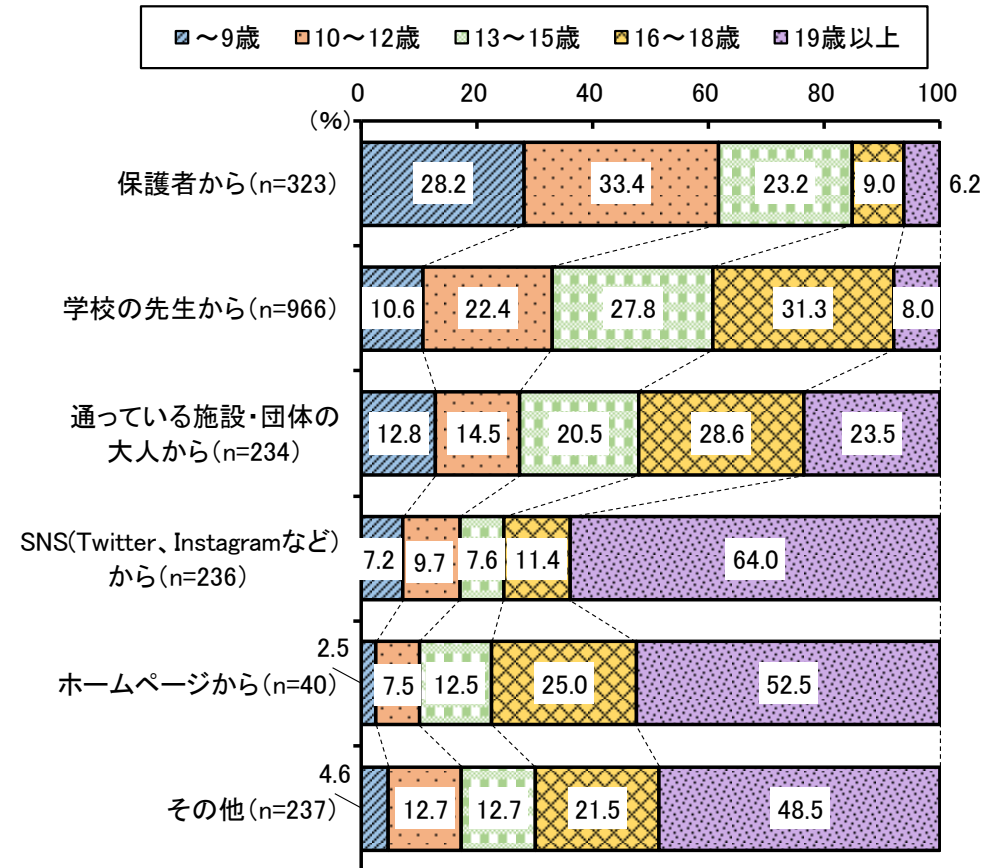
- SNSから入手したこともで、その他の入手元と比較して、「居場所がある」と回答する割合が若干低い傾向にあったが、アンケートの入手元別に年齢の分布をみると、SNSから入手したことのうち、「19歳以上」が6割以上を占めており、また、「19歳以上」では、その他の年齢区分と比較して、「居場所がある」と回答したことの割合が低い傾向にあることから（次スライドを参照）、年齢による影響を受けている可能性も示唆された。

アンケートの入手元別、居場所の有無

(6)あなたは、家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。



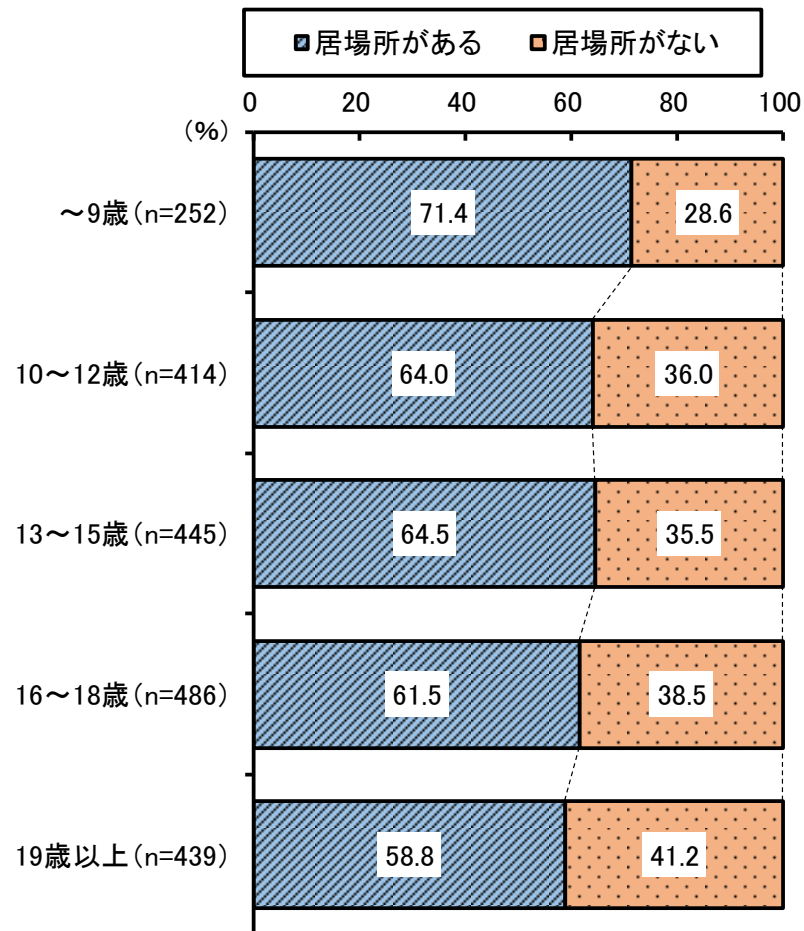
アンケートの入手元別、年齢



2. 調査結果 – 年齢別、居場所の有無（参考） –

年齢別、居場所の有無

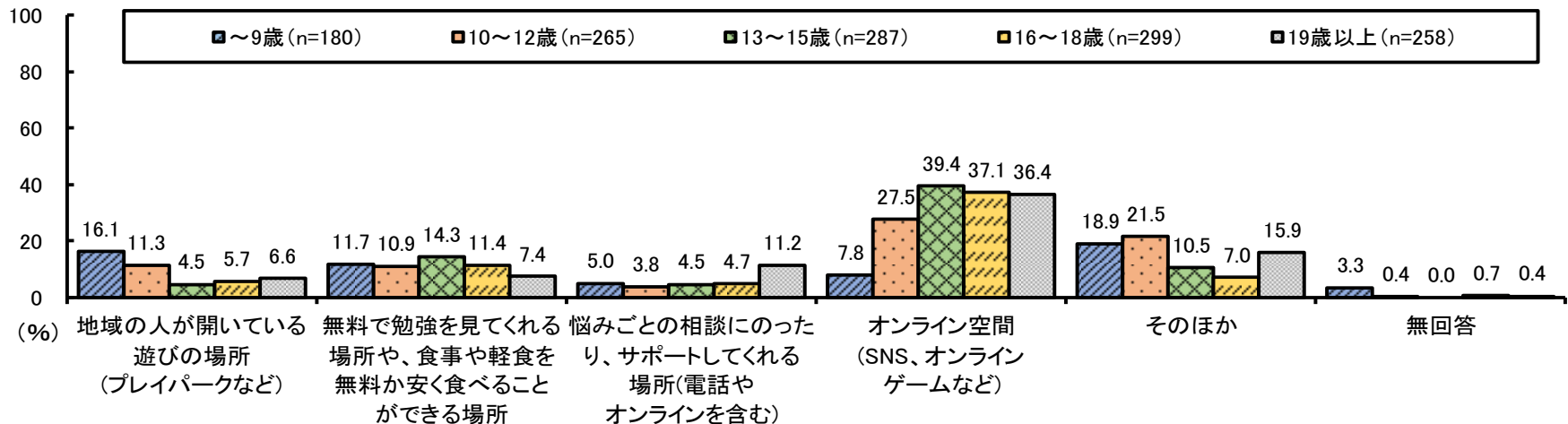
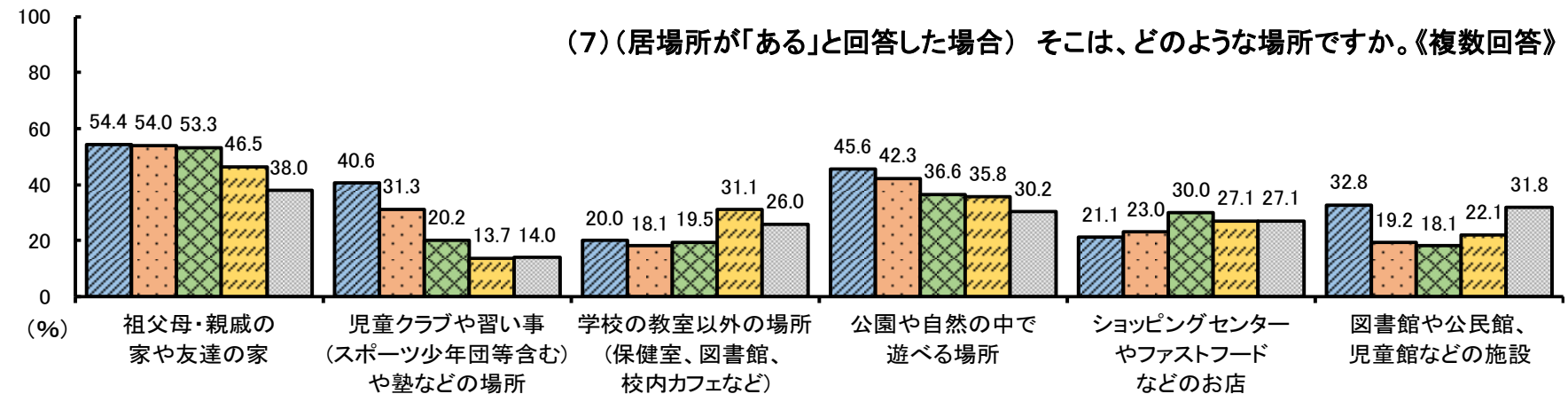
(6)あなたは、家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。



2. 調査結果 – 居場所があると回答した子どもや若者が、どのような場を居場所と感じているか –

- 年齢区分によらず、「祖父母・親戚の家や友達の家」と回答される割合が最も高かった。
- 上記のほか、低年齢層（～12歳）では、「児童クラブや習い事（スポーツ少年団等含む）や塾などの場所」、「公園や自然の中で遊べる場所」と回答される割合が、他の選択肢より高い傾向にあった。
- 年齢層があがると（13歳～）、「オンライン空間」と回答される割合が、他の選択肢より高い傾向にあった。

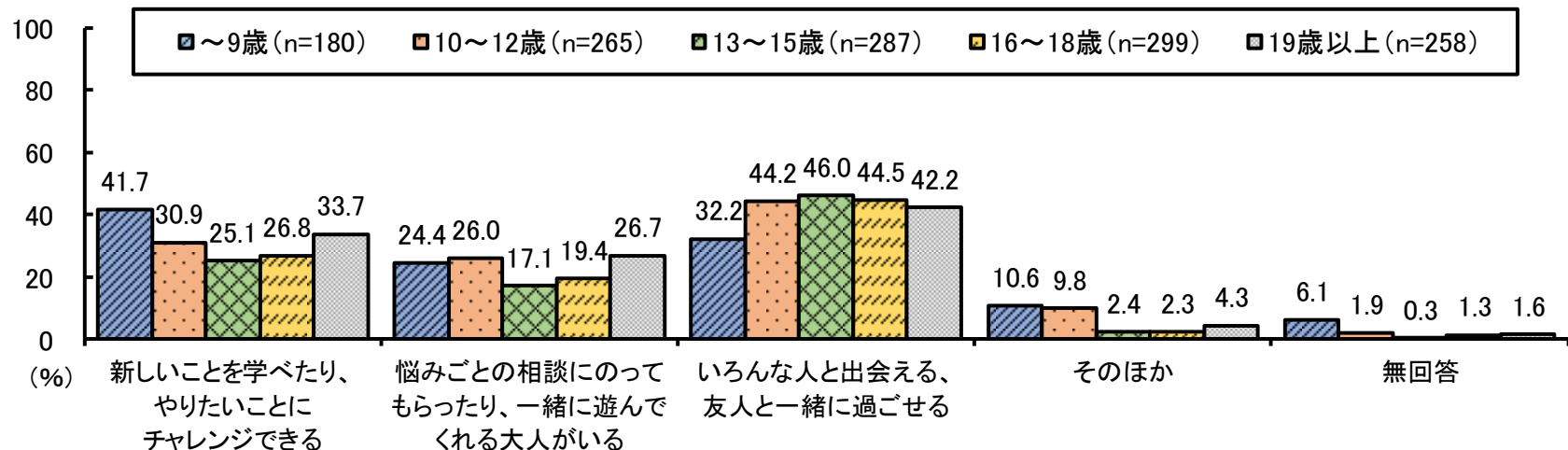
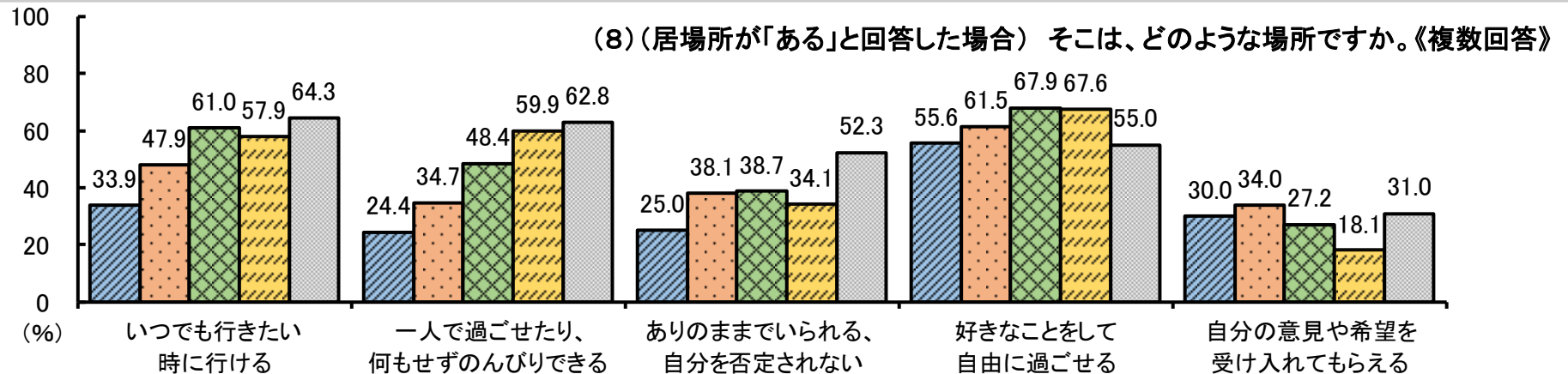
年齢別、居場所と感じている場（物理的にどのような場か）



2. 調査結果 – 居場所があると回答したこどもや若者が、どのような場を居場所と感じているか –

- ~18歳では、「好きなことをして自由に過ごせる」と回答される割合が最も高かった。19歳～では、「いつでも行きたい時に行ける」と回答される割合が最も高かった。
- 上記のほか、年齢層があがると（13歳以上～）、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」と回答される割合が、他の選択肢より高い傾向にあった。

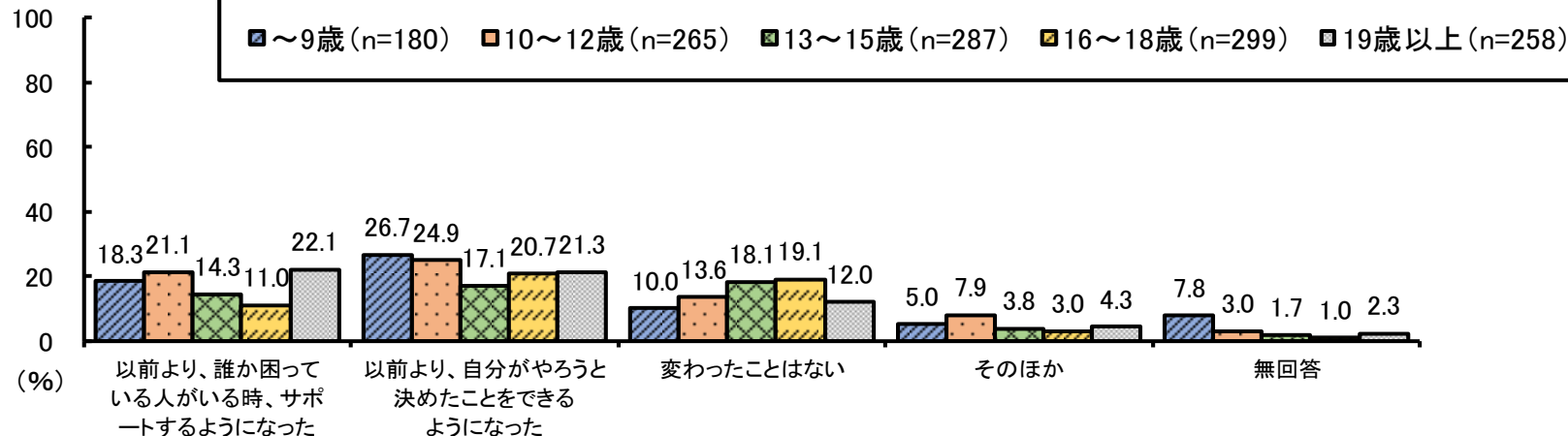
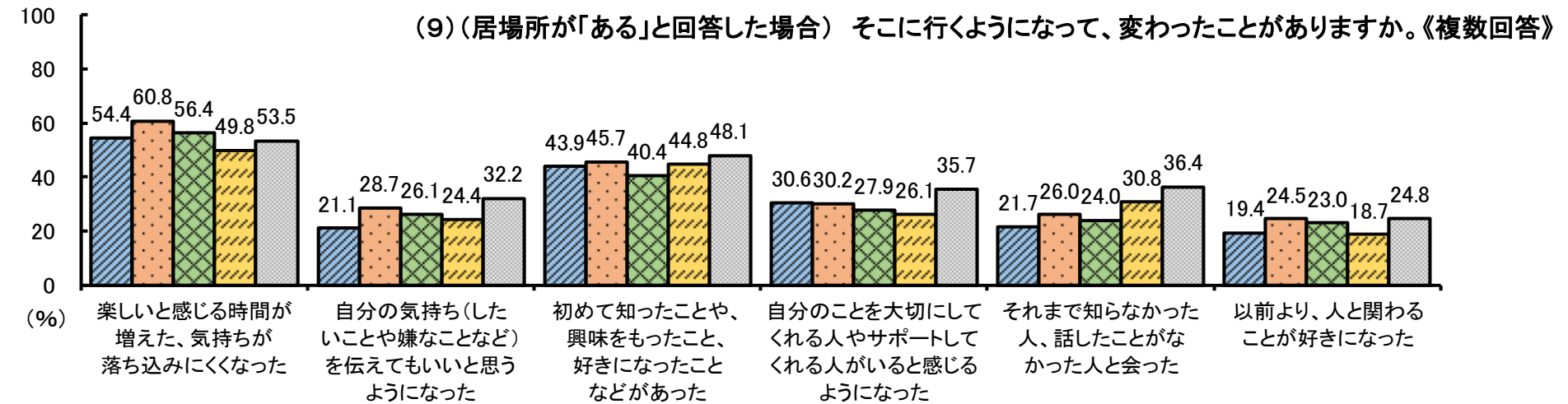
年齢別、居場所と感じている場（機能的にどのような場か）



2. 調査結果 – 居場所があると回答したこどもや若者における、居場所の利用前後での変化 –

- 年齢区分によらず、「楽しいと感じる時間が増えた、気持ちが落ち込みにくくなった」と回答される割合が最も高く、次いで、「初めて知ったことや、興味をもったこと、好きになったことなどがあつた」と回答される割合が高かつた。
- いずれの年齢区分においても、「変わったことはない」と回答される割合が、1～2割程度見受けられた。

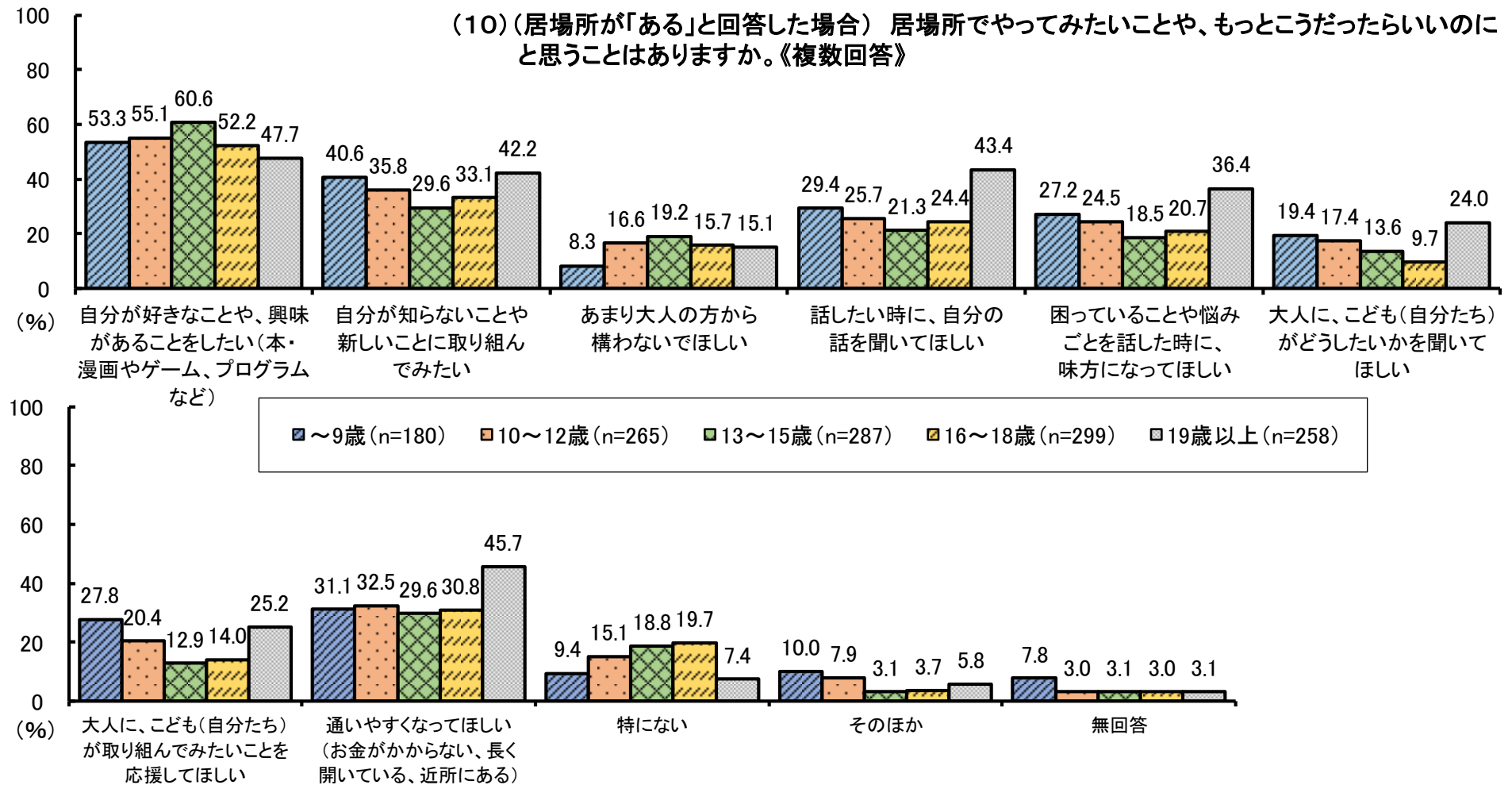
年齢別、居場所の利用前後での変化



2. 調査結果 – 居場所があると回答した子どもや若者における、居場所への要望 –

- 年齢区分によらず、「自分が好きなことや、興味があることをしたい」と回答される割合が最も高かった。
- 次に、「自分が知らないことや新しいことに取り組んでみたい」、「通いやすくなってほしい」と回答される割合も高い傾向にあった。

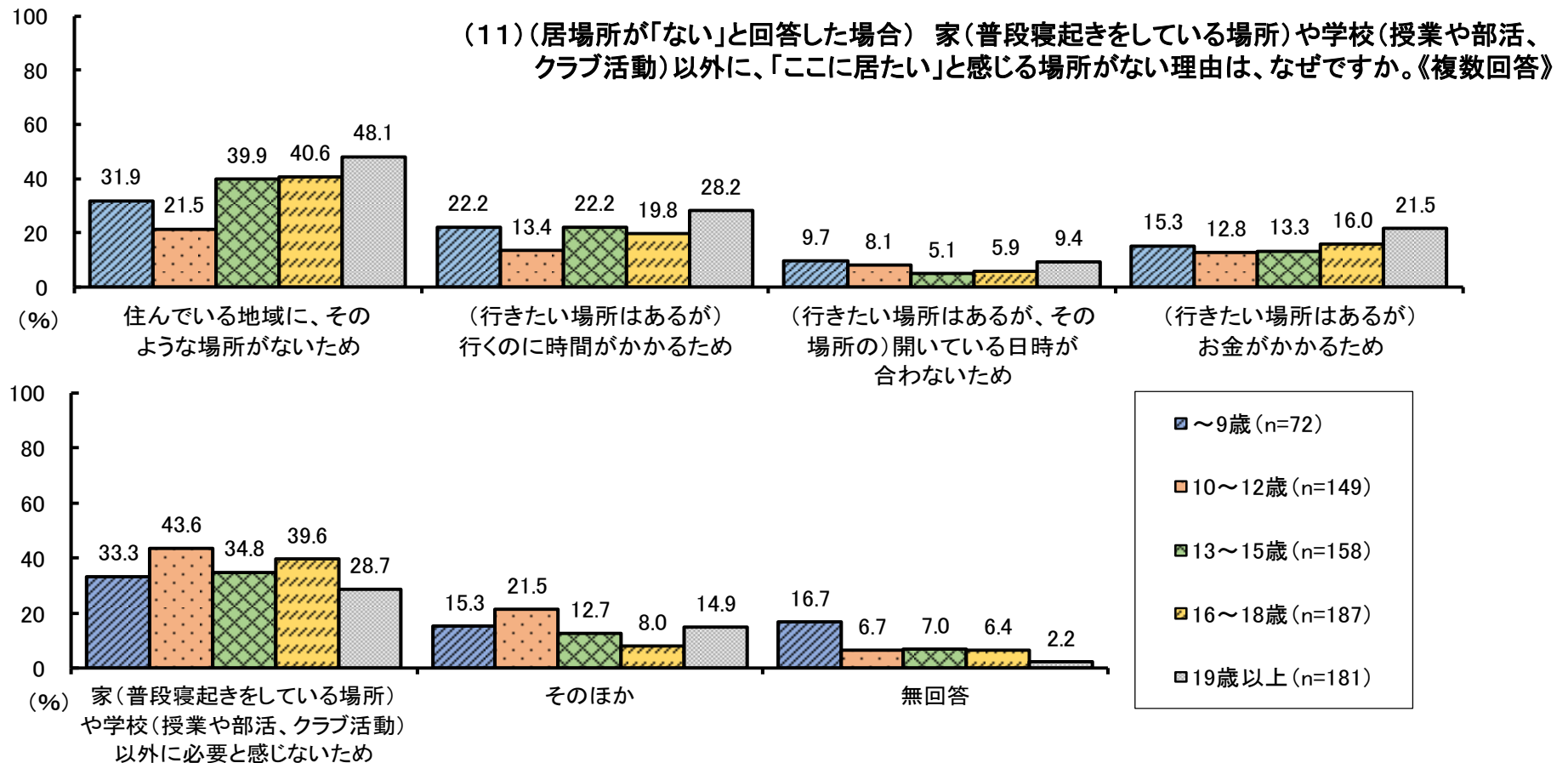
年齢別、居場所への要望



2. 調査結果 — 居場所がないと回答した子どもや若者における、居場所がない理由 —

- ~12歳では、「家や学校以外に必要と感じないため」と回答される割合が最も高く、次いで、「住んでいる地域に、そのような場所がないため」と回答される割合が高かった。
- 13歳～では、「住んでいる地域に、そのような場所がないため」と回答される割合が最も高く、次いで、「家や学校以外に必要と感じないため」と回答される割合が高かった。

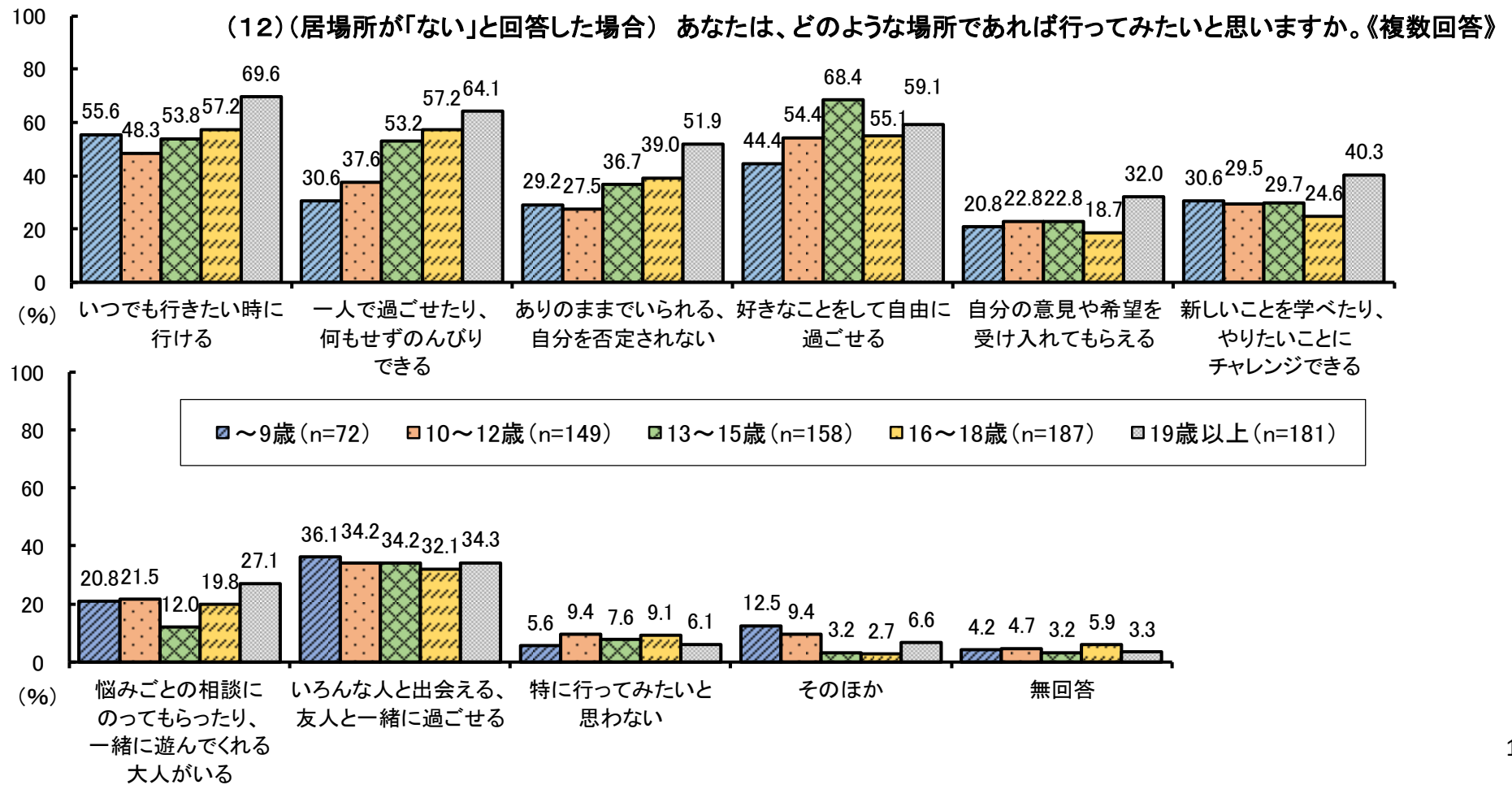
年齢別、居場所がない理由



2. 調査結果 – 居場所がないと回答した子どもや若者における、利用したい居場所 –

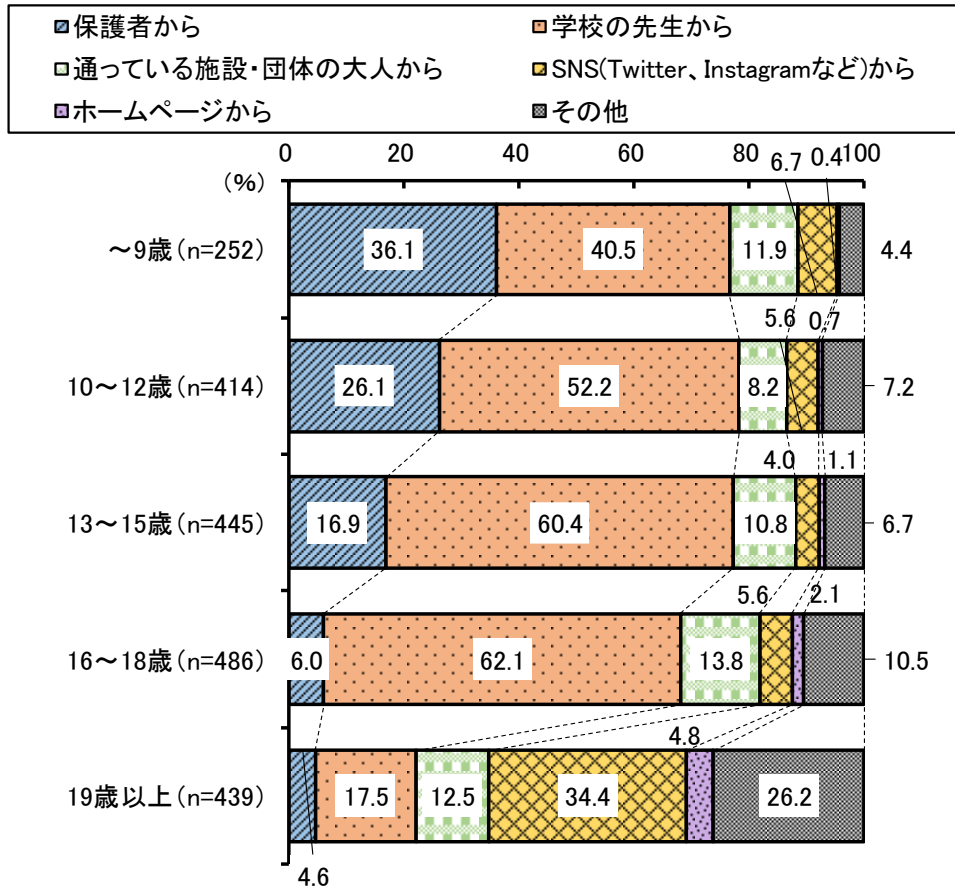
- ~15歳では、「いつでも行きたい時に行ける」、「好きなことをして自由に過ごせる」と回答される割合が、他の選択肢より高い傾向にあった。
- 16歳~では、「いつでも行きたい時に行ける」、「好きなことをして自由に過ごせる」のほか、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」と回答される割合が、他の選択肢より高い傾向にあった。

年齢別、利用したい居場所

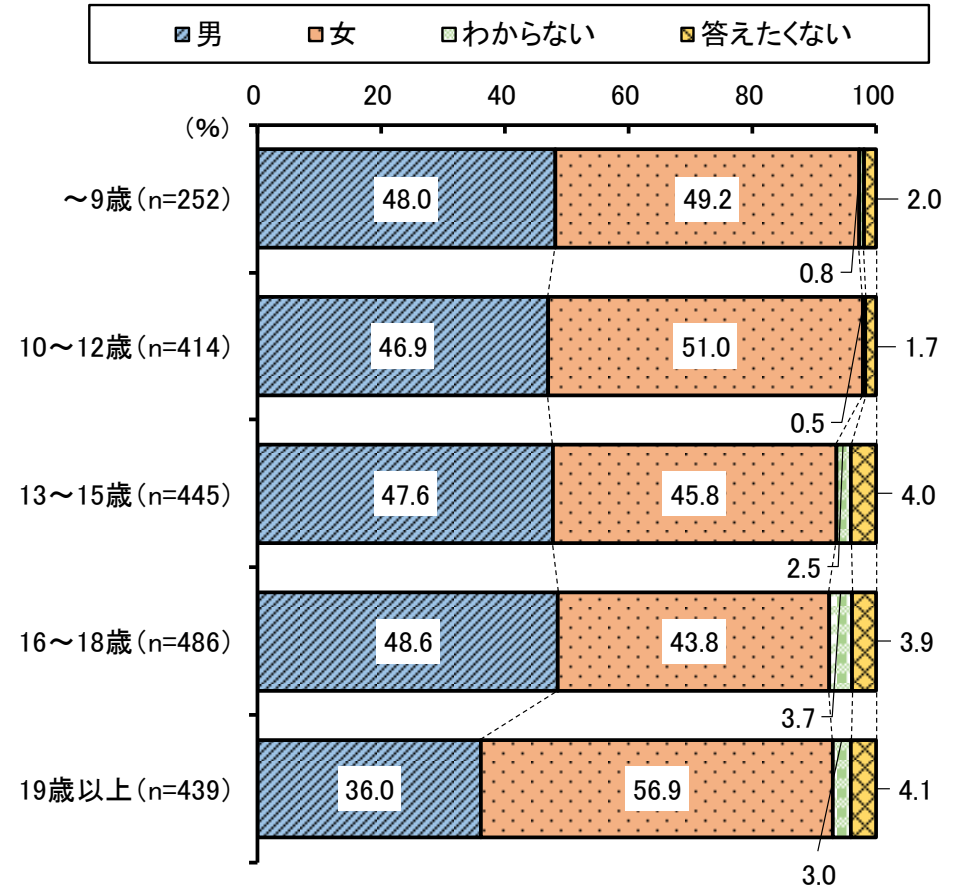


3. 参考 – 年齢別、その他属性の分布 –

年齢別、アンケートの入手元

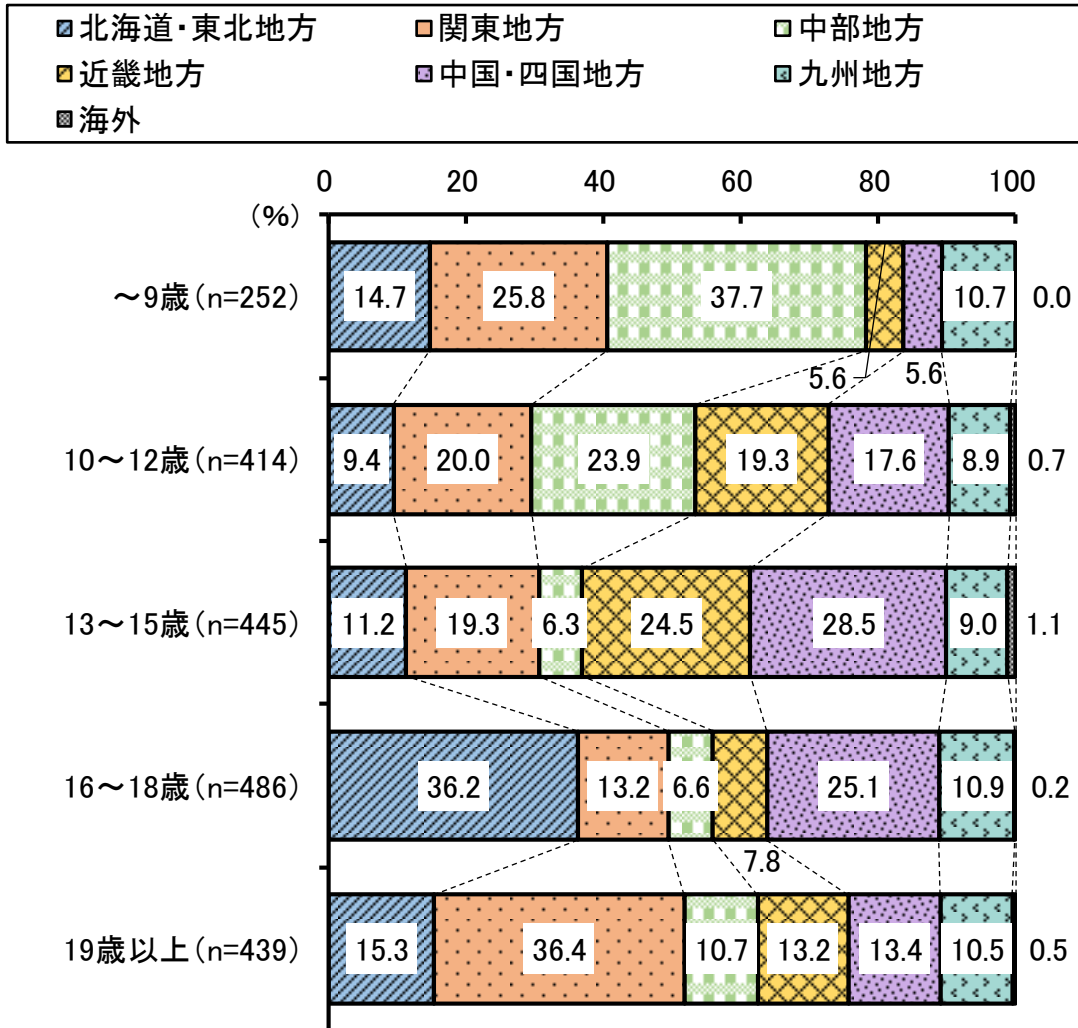


年齢別、性別



3. 参考 – 年齢別、その他属性の分布 –

年齢別、居住地域



3. 参考 – 性別、居場所のニーズ (参考) –

- 性別により、居場所のニーズを比較した結果、「わからない・答えたくない」と回答したこともにおいて、それ以外と比較して、居場所のニーズが高い傾向にあった。

性別、居場所のニーズ

(5) あなたは、家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がほしいですか。

